

## JAグループ土づくり運動実践中！

新潟米の品質向上と異常気象下でも安定した品質、収量を確保するため、県下JAで土づくり運動を展開しています。



### ○土づくり運動の主な取り組み内容

#### 1. 土壌診断を活用した土づくり肥料の提案

土壌分析結果にもとづき、不足成分を補給することができる土づくり肥料をご提案します。

#### 2. 土づくり肥料効果実証圃の設置

土づくり肥料の効果を実証するため、主に2つの試験に取り組んでいます。

- ①単年での効果検証が難しいため、各JA5ヵ年継続で取り組む実証圃を設置しています。
- ②関係機関と協力して、ケイ酸の多量投入（標準量の3～5倍）による効果を検証します。

#### 3. 低コスト土づくり肥料の提案

「散布量が多くて大変」「生産コストを抑えたい」などの理由から、土づくり肥料の施用を省かれてきた方へ、土づくりの「きっかけ」づくりとして、「低コスト土づくり肥料」をご提案します。

### ○なぜ土づくりが必要なのか

#### <新潟県水田土壌の現状>

この数値に満たない場合、土壌からの養分供給が不十分です。  
※色つきの欄は、成分が不足していることを示しています。

	単位	下限値	村上	新発田	新潟	新津	巻	三条	長岡	柏崎	魚沼	南魚沼	十日町	上越	糸魚川	佐渡
有効態ケイ酸	mg/100g -乾土	15	9.1	10	10.4	6.5	10.9	6.1	8	9.9	6.9	7.6	10.1	9.4	8.2	7.3
遊離酸化鉄	%	1.5	1.18	0.93	2.34	1.86	2.37	2.34	2.22	2.2	1.98	1.48	1.26	2.3	1.06	1.89

(新潟県農総研、2016データより)

1. 県内全ての地域でケイ酸が不足しています。
2. 一部地域では遊離酸化鉄も不足している傾向にあります。

#### ケイ酸が不足した稲

- ・ 茎葉が軟弱になり、倒伏や病害虫被害が増えます。
- ・ 受光態勢が悪化し、生育や収量、品質が低下します。



【倒伏した稲の様子】



【葉いもち病斑】

#### 鉄が不足した水田

- ・ 土壌に硫化水素が発生し、根ぐされなどを引き起こして、「秋落ち」が生じる可能性があります。



【ガスわきの様子】



【根腐れ障害】



米づくりは「土づくり」が重要です！  
品質・収量向上のため、継続して土づくりに取り組みましょう

## ○土づくり肥料の効果

### ケイ酸

- ・稲はケイ酸を非常に好み、生育期間中に一番多く吸収されます。
- ・倒伏軽減、暑さや病害虫に強くなる等の効果が期待できます。



### 鉄

- ・根ぐされの原因となる硫化水素の発生抑制効果があります。
- ・後期栄養不足(秋落ち)対策としては「鉄」のほか、「マンガン」を含む肥料の施用を行なうことが効果的です。



## ○おすすめ土づくり肥料

### 「越後の輝き ソイル米スター」



ケイ酸の補給に  
おすすめ

#### ○特徴

- ・1袋が **15kg**と軽量
- ・ケイ酸を **30%保証**  
 水稻が効率的に吸収するケイ酸を含む
- ・標準施肥量: 10aあたり2袋以上  
 (土壤分析結果に基づき施用してください)

### 「ソイルキーパーFe」



鉄の補給に  
おすすめ

#### ○特徴

- ・ケイ酸と鉄を中心とした土づくり肥料
- ・酸化鉄を **19%含有**  
 秋落ち、ワキの抑制に有効
- ・標準施肥量: 10aあたり3~5袋  
 (土壤分析結果に基づき施用してください)

#### 【保証成分表】

肥料名	保証成分(%)						含有成分(%)
	りん酸	加里	アルカリ分	ケイ酸	苦土	マンガン	鉄
越後の輝き ソイル米スター	1	7	23	30	2		
ソイルキーパーFe			35	13.5	1.5		19